

（仮称）白岡市空家等の適切な管理に関する条例の骨子（案）について

1 目的

この条例は、空家等対策の推進に関する特別措置法（以下「法」という。）に定めるもののほか、空家等の適切な管理及び特定空家等の発生の予防に関し必要な事項を定めることにより、空家等が管理不全な状態になることを防止し、良好な生活環境の保全及び防犯のまちづくりの推進を図り、安全で安心な暮らしの実現に寄与することを目的とします。

2 定義

この条例の用語の意義を次のとおり定めます。

- (1) 空家等 法第2条第1項に規定する空家等及び空家等を除却した後の敷地
- (2) 特定空家等 法第2条第2項に規定する特定空家等
- (3) 管理不全な状態 空家等が次のいずれかの状態であること

ア そのまま放置すれば倒壊等保安上危険となるおそれのある状態

イ そのまま放置すれば衛生上有害となるおそれのある状態

ウ そのまま放置すれば著しく景観を損なうおそれのある状態

エ その他、周辺的生活環境の保全を図るために放置することが不適切となるおそれのある状態

3 所有者等の責務

所有者等は、空家等が管理不全な状態にならないよう、適切な管理を行わなければならないものとします。

4 市の責務

市は、空家等の所有者等によるその適切な管理及び利用並びに活用を促進するために必要な対策を適切に講じるものとします。

5 情報の提供

市民は、空家等の適切な管理が行われていない空家等があると認めるとき又は市にその情報を提供することができるものとします。

6 緊急安全措置

生命、身体又は財産に危害が及ぶことを避けるために緊急の必要があると認めるときに、所有者等の同意がなくても市が必要最小限の措置を行うことで、危害を回避する措置を講じることができるようにします。

当該措置に費用を要した場合は、原則として所有者等に請求します。

7 施行予定日

平成31年4月1日

法と条例との関係(イメージ)

